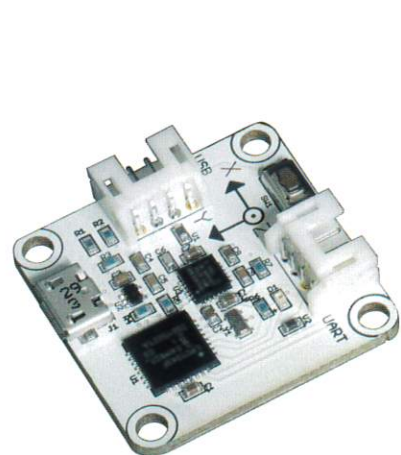


介護現場で。

角度の変化を感知するセンサを利用して、要介護者が静止しているのか転倒してしまったかを遠隔でパソコンから確認することが出来ます。介護施設などで介護者の負担を軽減することが出来ます。

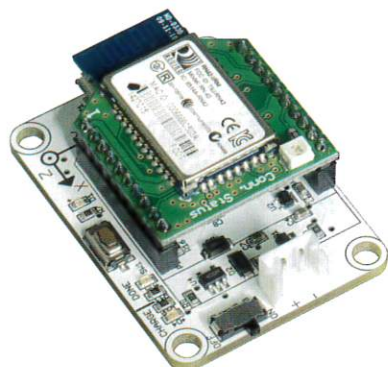
街中で。

デジタルサイネージ（電子看板）にセンサを取り付けて、天候によって人通りがどう増減するかを監視することで看板内容を変えるなどマーケティングにも使用できます。



RT-USB-9axisIMU2
USB 出力 9 軸 IMU センサモジュール

3 軸加速度
3 軸ジャイロ
3 軸地磁気センサの
MPU-9250 を搭載
21,600 円（税込）



RT-BT-9axisIMU
無線 9 軸 IMU センサモジュール

3 軸加速度
3 軸ジャイロ
3 軸地磁気センサの
MPU-9250 を搭載
32,400 円（税込）



RT-USB-THP
USB 温湿気圧センサモジュール

16,200 円（税込）

「同じようなセンサは他にも出ているでしょう？」

いいえ、USB ですぐつながるセンサでこの価格はアールティだから可能です！

通常、製品開発中にすぐセンサを使用したくても、まずセンサに組み込まれたファームウェアを自分で開発しなければなりません。WhiteBirdy シリーズはファームウェアが既に取り込まれており、USB 又は Bluetooth でネット接続してすぐにセンサ値を確認することが出来ます。オープンソースなので自分でオリジナルのファームウェアを書くことも可能です。

■詳細な仕様・ご購入は

White Birdy IoT

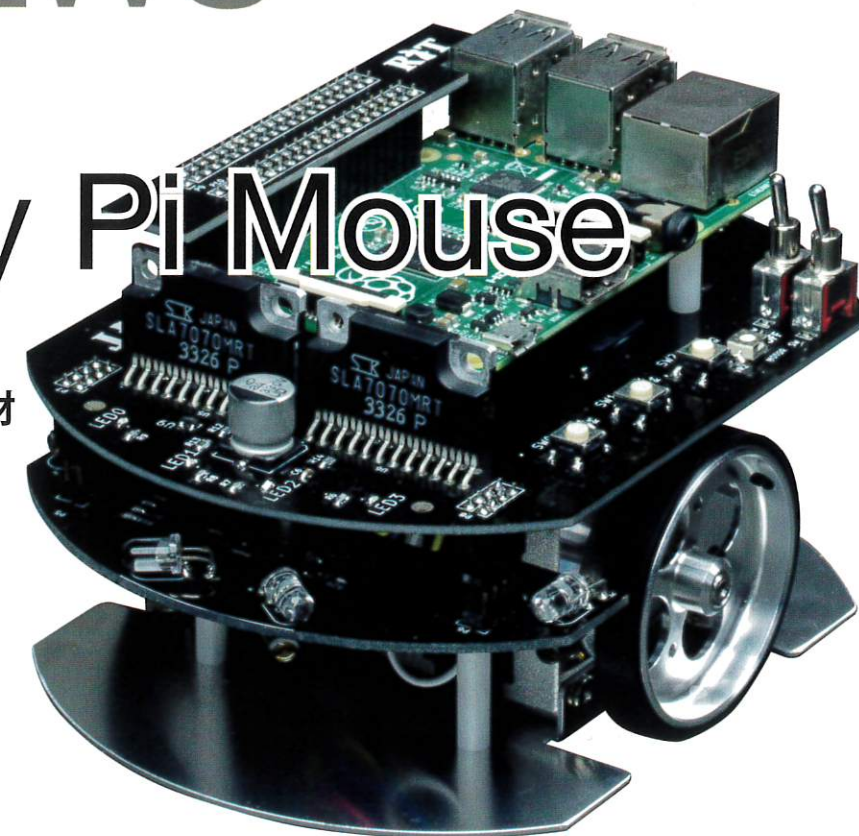
🔍検索



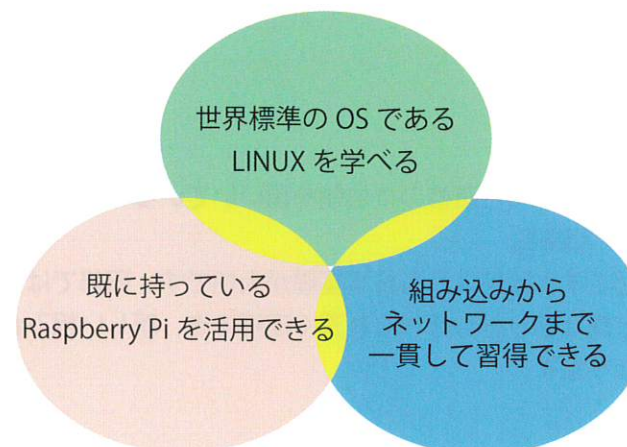
Raspberry Pi Mouse

ハードからソフトまで
一貫して学べるエンジニア向け教材

「Raspberry Pi Mouse（ラズベリーパイマウス）」は全世界で 1,000 万台以上も売れているイギリス発の極小コンピュータ Raspberry Pi を搭載したマイクロマウスです。マイクロマウスとは、自分で迷路の最短距離を導き出してゴールまで走り抜く時間を競い合う競技会に使用する、小さな車輪型ロボットです。



■教育現場で重宝されている 3 つの理由



■1 台でこんなことが学べます！

- Python や C++ を用いたロボット制御
- ROS プログラミング
- Linux の機能や各種サーバーを用いたロボットアプリケーション
- GitHub や Travis CI 等のウェブサービスを用いた開発
- デバイスドライバ作成
- オープンソースの利用

48,600 円（税込） ※Raspberry Pi 無しセット

■お客様の声

大学教授 H.K 先生「Raspberry Pi Mouse はハードウェアからソフトウェアまで学習できる為、エンジニア教育の材料に向いています」



調整をする上田先生

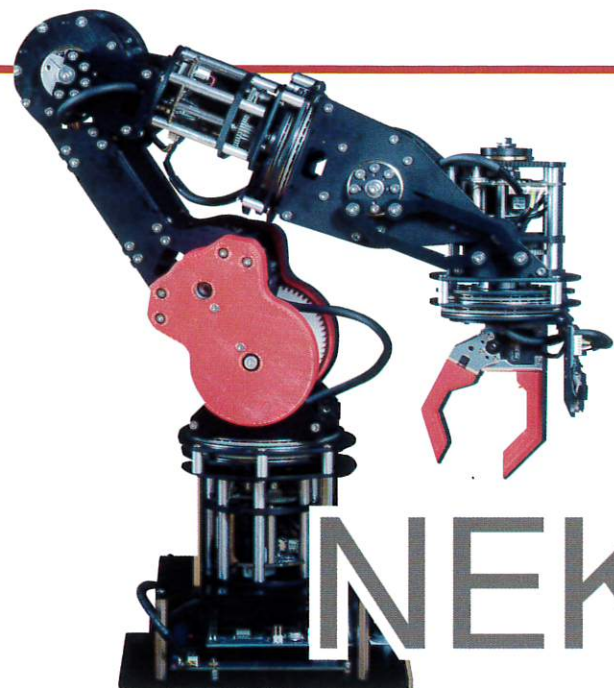
かねてより要望が多かった Raspberry Pi Mouse の教科書が千葉工業大学の上田隆一先生により 2017 年春頃日経 BP 社から発売予定です！！

■詳細な仕様・ご購入は

ラズベリーパイマウス

🔍検索





NEKONOTE

6DOF for Academic

—ロボットは人間と協業して働く時代へ—

■NEKONOTE が研究用の入門機として最適な3つの理由

- ① 構造がよく分かるスケルトンタイプ
- ② ご自身で好き勝手にカスタマイズも可能
- ③ JSON コードで通信の為、Java Script、C/C++ で開発が可能

■詳細な仕様・ご購入は

RT NEKONOTE 🔍検索



1,944,000 円 (税込)

RT ACADEMY

エンジニア向け研修サービス

世界的に有名な大企業様からも次々と研修のご依頼を頂いているのが Pi:Co を使ったマイクロマウス研修。

企業でイノベーションを起こすには何よりもまず基礎が大切です。研修ではメカ、電子工作、ソフトなど異なる分野をそれぞれ深く理解でき、新しい組み合わせを発想出来るようになります。

■研修テーマ実績

- ・ロボット制御基礎コース (3日間)
- ・マイクロマウス制作入門
- ・ROS を活用したロボット制御技術 他

今秋から人事担当者向け RT Academy 季刊誌を発行します！

理系学生の最新就活動向などお役立ち情報も掲載予定。

■研修お問い合わせ・季刊誌購読
ご希望の方はこちらまで

RT アカデミー 🔍検索



講師紹介 青木政武 (あおきまさたけ)

芝浦工業大学卒業 ルネサスエレクトロニクスにて半導体開発をし、現在アールティ開発部所属。
著書に「ロボットコントロール C言語による制御プログラミング」等

Pi:Co はアールティオリジナルのマイクロマウスです。

Pi:Co を製作する過程で、人工知能、マイコン、メカ、電気などのロボット制作の基礎をくまなく学べます。マイクロマウスを作れるようになると、どんなロボット製作にもその技術が応用出来るようになります。

■お客様の声

神奈川県立川崎工科高校 ロボットコース担当 尾花健司先生

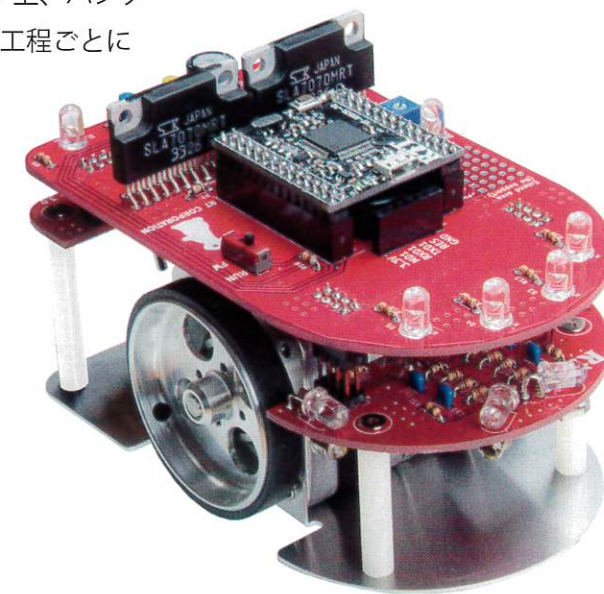
「部品が組み立て順に小袋に分けられていて非常に分かりやすい上、ハンダ練習基板もあり、初心者にも親切なキットです。マニュアルも工程ごとに写真が載っており、素晴らしいキットだと感じました。」

49,680 円 (税込)

ロボコンマガジン (オーム社) にて
Pi:Co を使ったプログラミング企画を連載中！

■詳細な仕様・ご購入は

マイクロマウス pico 🔍検索



Pi:Co Classic

受託開発承ります

アールティは多くのイノベーターを顧客としてセンサ基板の設計、人型ロボットの開発、人との協業型ロボット等を全て自社で開発しています。こんなハードウェアがあったら研究が進むのに！という時にお声がけ下さい。

About RT Corporation

「Life with Robot (ロボットのいる暮らし)」の実現へ

アールティは 2005 年の創業以来、人型ロボットやコミュニケーションロボットはもちろんのこと、センサ等の基板開発からネットワーク関連のハードウェア、基本的なコミュニケーションからディープラーニングに至る人工知能まで幅広い分野をカバーする様々なサービスロボットの開発に取り組んできました。アールティにおけるロボットの定義は" AI Aided Robotics" つまり「身体を持った人工知能」です。ロボットの技術予測と総合的な人工知能の使い方を知り尽くしたアールティだからこそ、お手伝いできる開発があります。未来と一緒に作りましょう！



株式会社アールティ 代表取締役
中川友紀子